

石山・藤野・簾舞地区

# 地域交通計画

～住み良く、安全な地域のための道づくり～



平成 20 年 5 月

札幌市

## 1. 地域交通計画について

札幌市南区石山、藤野、簾舞は、自然環境が豊かな地域である一方、国道230号を骨格として市街地が形成され、道路網が希薄な状況となっております。

札幌市は、地域内の交通に対応する道路として、都市計画道路「藤野通」の整備を行ってきました。

そして、藤野通（藤野1号通～藤野西通間）の整備完了の見通しが立った平成16年に、あらためて今後、どのような交通環境の整備が必要か、検討を進めることとしました。

検討にあたっては、4年間にわたり、交通の現状や自然環境などの地域の特性を調査し、地域の皆様のご意見をうかがってまいりました。

このような経緯を踏まえ、地域の交通課題に対して総合的な視点から検討を行い、課題解決に向けた取り組みを進めるための指針となるものとして「石山・藤野・簾舞地区 地域交通計画」を策定しました。

なお、本計画は、今後おおむね10年以内に具体化することを目標としています。

計画の策定範囲はおおむね右図の通りです。以下「地域」とは、この策定区域を指します。

(図1) 計画策定区域



## 2. 石山・藤野・簾舞地区の現状と課題

### 1) 地域の人口と土地利用

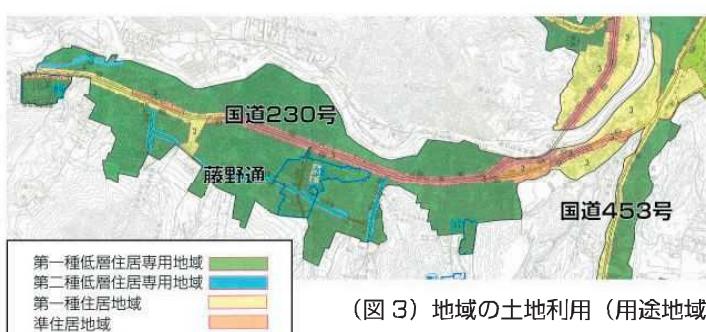
石山・藤野・簾舞地域では、明治時代から入植が始まり、高度経済成長期以降の団地造成などで、人口が徐々に増加し、平成12年(2000年)には3万8,500人を数えるまでになりましたが、その後減少に転じています。また、近年は65歳以上の老人人口の割合が増加しています(図2)。

周辺は豊平川に山々がせまった地形で、平地以外は市街化調整区域※1となっています。地域の土地利用を見てみると(図3)、市街化区域※2はほとんどが住居系で、一部、国道230号沿線が商業系になっています。また、住居系(緑)の部分は、持ち家率も高く一戸建てが多い住宅街です。

	H19.4.1の人口(人)	H14→H19の人口増加率(%)	老年(65歳以上)人口割合(%)	持家比率(%)
石山地区	11,409	△4.2	22.6	76.2
藤野地区	20,117	△3.6	21.3	83.0
簾舞地区	5,581	△1.1	19.9	89.9
南区	150,055	△2.8	20.6	60.1
札幌市	1,874,410	2.8	17.3	47.7
住民基本台帳による		H17国勢調査による		

△は減少を示す

(図2) 地域の人口と持家比率



(図3) 地域の土地利用(用途地域)

※1 市街化調整区域：まちの整備を抑える区域

※2 市街化区域：まちの整備を進める区域